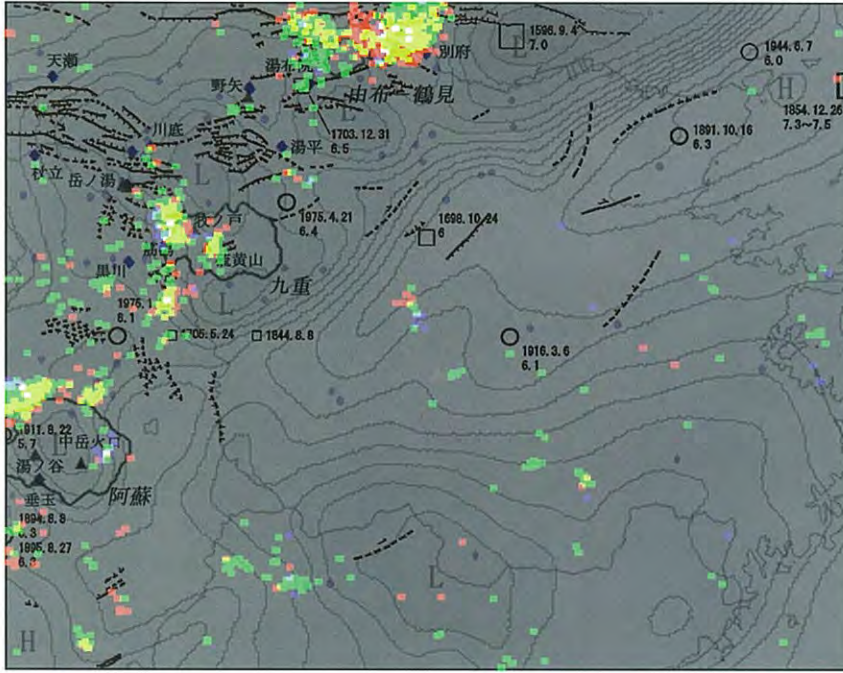
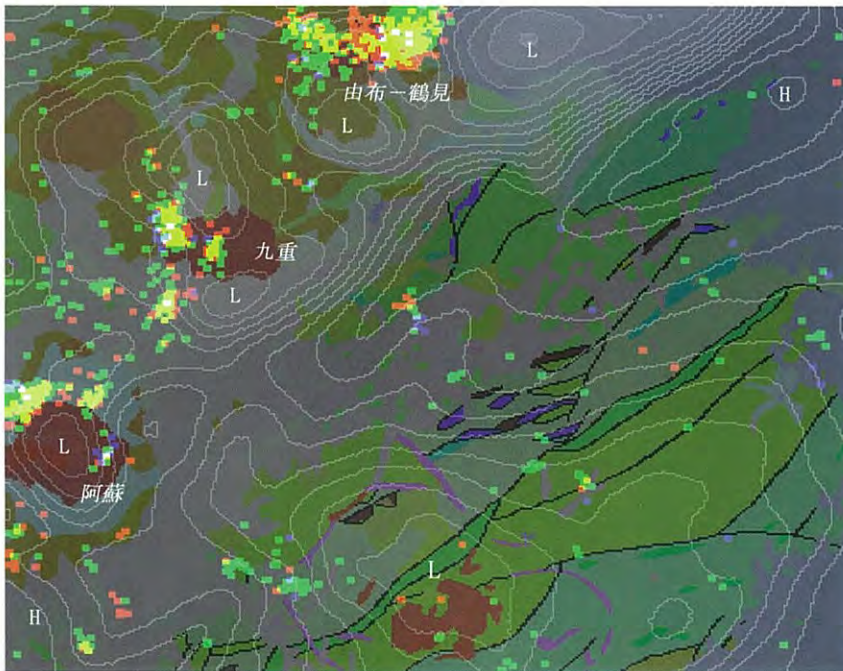


# 公開震源データとGISを利用した深部地熱環境の推定 -20万分の1地勢図「大分」地域を例とした試み

＜茂野 博＞



1. 20万分の1地勢図「大分」範囲の地殻内震源の分布と活火山体、高温噴気・温泉地、重力異常、活断層、過去の災害地震～比較的大きな地震の分布の重合表示。震源は、気象庁(2002)の震源データファイル(1998～2000年)による。震源の色は深度範囲を示し、RGBカラーで赤は地殻浅部(0～7.5km)、緑は地殻中部(7.5～15km)、青は地殻深部(15～30km)である。黄、水色、紫、白は加法混色によるもので、複数深度範囲に震源が分布することを示す。活火山体は地質調査所(1995)の250mメッシュデータ、高温の噴気地(三角形)および温泉地(80℃以上は菱形、同未満は小丸)は阪口・高橋(2002)の一覧表、ブーゲー重力異常は地質調査所(2000)の1kmメッシュデータ(岩石密度 = 2.67g/cm<sup>3</sup>)、活断層・過去の地震は活断層研究会編(1991)の図面(スキャナーで電子化)、海岸線・県境は日本地図センターのJMCマップのベクトルデータに基づく。詳細は本文参照。



2. 20万分の1地勢図「大分」範囲の地殻内震源の分布と地表地質、重力異常の分布の重合表示。震源は、気象庁(2002)の震源データファイル(1998～2000年)による。震源の色は深度範囲を示し、RGBカラーで赤は地殻浅部(0～7.5km)、緑は地殻中部(7.5～15km)、青は地殻深部(15～30km)である。黄、水色、紫、白は加法混色によるもので、複数深度範囲に震源が分布することを示す。地表地質は地質調査所(1995)の250mメッシュデータ、ブーゲー重力異常は地質調査所(2000)の1kmメッシュデータ(岩石密度 = 2.67g/cm<sup>3</sup>)に基づく。地質の凡例は地質調査所(1995)を参照。震源分布を明確に示す目的で、地質図の色調は調整されている。詳細は本文参照。